

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 清掃課			内線等	8007
事務事業名	リサイクルプラザ資源物処理施設運営管理事業			事業コード	5 . 義務的事業		
根拠法令等	廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			B 条例			

総合計画での位置付け

基本目標	1 . 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	廃棄物
------	------------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民のために
手 段	リサイクルプラザ資源物処理施設の合理的な運営をすることによって
想定する成果	資源ごみの再利用を図っている。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
資源物売却単価	12,108円 / t	17,006円 / t	10,229円 / t
資源物処理経費	14,848円 / t	15,612円 / t	12,077円 / t
運転管理委託料	12,600,000円	12,600,000円	12,600,000円

成果指標

成果指標名	売却資源物による収入比率	資源物1トン当りの処理経費
成果指標の説明	売却単価 / 処理単価 × 100 (%)	資源物処理経費 / 資源物処理量 (円 / t)

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		81.55%				108.93%				84.70%			
成果指標		14,848円 / t				15,612円 / t				12,077円 / t			
事業費	事業費	41,804				50,813				61,694			
	人件費	43,394				43,438				42,962			
	(人数)	正規	5.4	非常勤		正規	5.4	非常勤		正規	5.4	非常勤	
	合計	85,198				94,251				104,656			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	67,392				92,849				54,767			
	一般財源	17,806				1,402				49,889			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	リサイクルプラザ資源物処理施設としての機能は果たしているが、分別の対策が不十分である。
経済効率性	2	2	2	2	シルバー人材センターを活用し人件費削減を図っているが、売却単価が景気動向により変動が大きいため、生産性がとりにくい。
事務効率性	2	2	2	2	受入方法、人員配置等の対策が必要である。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	6	9	6	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	ごみ減量化に対しかなりの貢献をしている。
合計	8	9	8	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	地球温暖化対策にも、ごみの「資源化」は必要と思われる。
------	---	---	---	---	-----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
プラザ運転委託料の削減及びシルバー人材センターの活用等による人員削減
上記改善点の実施状況
シルバー人材センターの活用等による人員削減を行っている。

今後さらに改善すべき点

資源物分別の正確化対策

平成21年度予算に反映する項目

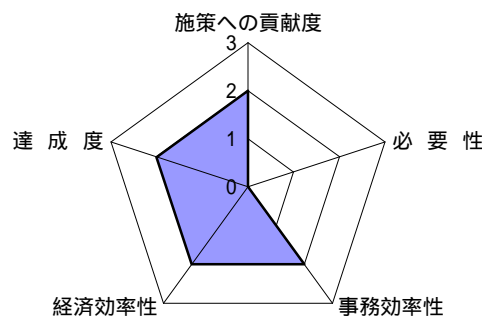
--

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点